

## 第 28 回池田町行財政改革推進委員会次第

と き：令和 4 年 9 月 7 日（水）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

と ころ：池田町役場 2 階大会議室

司会：総務課長

1 開会（副会長）

2 会長あいさつ

3 第 2 回第 4 総務部会報告

日 時 8 月 31 日（水） 午後 3 時～

場 所 オンライン会議（ZOOM）

出席者 部会員：山沖会長（部会長）、宮嶋委員、辻委員、村端委員

部員外委員：山崎委員

事務局：企画係長

内 容 諮問事項 3「事務・事業の改善に関すること」について

・補助金について（追加資料検討）

・補助金のあり方に関する論点のたたき台について

4 協 議（司会：会長）

・補助金について（追加資料）

（説明：健康福祉課課長補佐、振興課商工観光係長、総務課移住定住係長、総務課企画係長）

・補助金のあり方に関する論点のたたき台について

・事務・事業の改善に関するフリーディスカッション

5 今後のスケジュール

・第 29 回委員会	9 月 28 日（水）	13：30～16：30	ZOOM 開催
・第 30 回委員会	10 月 13 日（木）	〃	役場 2 階大会議室
・第 31 回委員会	10 月 26 日（水）	〃	ZOOM 開催
・第 32 回委員会	11 月 10 日（木）	〃	役場 2 階大会議室
・第 33 回委員会	11 月 24 日（木）	〃	ZOOM 開催
・第 34 回委員会	12 月 日（ ）	〃	役場 2 階大会議室
・第 35 回委員会	12 月 日（ ）	〃	ZOOM 開催

6 その他

7 閉会（副会長）

定住補助金の交付件数と受給者に係る転入者・在住者の内訳（H29年度からR3年度までの実績）

R3	転入者					在住者					合計	
	件数	左記申請者内訳			人数	件数	左記申請者内訳			人数	件数	人数
		45才以下	46～60才	61才以上			45才以下	46～60才	61才以上			
新築	12	9	0	3	25	16	14	0	2	47	28	72
中古購入	5	2	1	2	12	1	1	0	0	4	6	16
合計	17	11	1	5	37	17	15	0	2	51	34	88

R2	転入者					在住者					合計	
	件数	左記申請者内訳			人数	件数	左記申請者内訳			人数	件数	人数
		45才以下	46～60才	61才以上			45才以下	46～60才	61才以上			
新築	21	14	4	3	60	15	13	2	0	51	36	111
中古購入	13	4	5	4	26	4	1	3	0	10	17	36
合計	34	18	9	7	86	19	14	5	0	61	53	147

R1	転入者					在住者					合計	
	件数	左記申請者内訳			人数	件数	左記申請者内訳			人数	件数	人数
		45才以下	46～60才	61才以上			45才以下	46～60才	61才以上			
新築	19	7	5	7	45	21	17	2	2	75	40	120
中古購入	9	5	1	3	23	2	1	0	1	5	11	28
合計	28	12	6	10	68	23	18	2	3	80	51	148

H30	転入者					在住者					合計	
	件数	左記申請者内訳			人数	件数	左記申請者内訳			人数	件数	人数
		45才以下	46～60才	61才以上			45才以下	46～60才	61才以上			
新築	8	7	0	1	23	7	6	1	0	28	15	51
中古購入	2	2	0	0	10	3	2	1	0	11	5	21
合計	10	9	0	1	33	10	8	2	0	39	20	72

H29	転入者					在住者					合計	
	件数	左記申請者内訳			人数	件数	左記申請者内訳			人数	件数	人数
		45才以下	46～60才	61才以上			45才以下	46～60才	61才以上			
新築	1	0	0	1	2	1	1	0	0	3	2	5
中古購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	2	1	1	0	0	3	2	5

社会福祉法人池田町社会福祉協議会

所属名	職名	備考
	常務理事/事務局長	兼介護支援専門員
総務係	総務係長/衛生管理者	
	事務員	

所属名	職名	備考
地域支え合い推進係	係長/社会福祉士	
	主任/地域支え合い推進員	
	社会福祉士（福祉活動専門員）	
	社会福祉士（ボランティアコーディネーター）	
	事務員/支援員	兼いけだ地域活動支援センター 非常勤
	助産師	兼訪問看護 非常勤
	助産師	非常勤
	助産師	兼訪問看護 非常勤
	助産師	非常勤
	保育士	非常勤
	運転員（福祉輸送サービス）	非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	兼いけだ地域活動支援センター 非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	非常勤
	サポーター	非常勤
	生活支援員	非常勤
生活支援員	非常勤	
生活支援員	非常勤	
社会福祉士	育児休業	
地域活動支援センターくわの木	係長（管理者）/相談支援専門員	兼いけだ社協特定相談支援事業所
	支援員	非常勤
	支援員	非常勤
	支援員	非常勤

所属名	職名	備考
いけだ訪問介護事業所	所長/サービス提供責任者/介護福祉士	
	主任/サービス提供責任者/介護福祉士	
	介護員	
	介護福祉士	育児休業
	主任/介護福祉士	兼いけだデイサービスセンター高姫 嘱託
	介護福祉士	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	介護福祉士	非常勤
介護員	非常勤	

所属名	職名	備考
いけだ社協介護支援事業所	主任（管理者）/介護支援専門員/相談支援専門員	兼いけだ社協特定相談支援事業所
	主任/介護支援専門員	〃
	介護支援専門員	

所属名	職名	備考
いけだ訪問看護ステーション	所長/看護師	嘱託
	主任/看護師	
	看護職/機能訓練指導員	兼いけだデイサービスセンター小島館 非常勤

所属名	職名	備考
いけだデイサービスセンター 高姫	所長/介護福祉士/生活相談員	
	主任/生活相談員/介護福祉士	
	主任/生活相談員/介護福祉士	
	看護職	嘱託
	看護職/機能訓練指導員	非常勤
	看護職/機能訓練指導員	非常勤
	介護福祉士	
	介護福祉士	
	生活相談員/介護福祉士	
	介護福祉士	
	生活相談員/介護福祉士	兼いけだデイサービスセンター小島館
	介護福祉士	非常勤
	介護員	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	介護員	非常勤 育児休業
	介護員	非常勤
	介護員	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	運転員	兼福祉輸送サービス 非常勤
	運転員	非常勤

所属名	職名	備考
いけだデイサービスセンター 小島館	所長/生活相談員/介護福祉士	
	主任/介護福祉士/生活相談員	
	看護職	非常勤

所属名	職名	備考
いけだ南部デイサービスセンター さくらの家	主任（管理者）/生活相談員/介護福祉士	嘱託
	介護員	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	看護職/機能訓練指導員	兼いけだデイサービスセンター高姫 兼務

所属名	職名	備考
いけだ小規模多機能型居宅介護事業所 おひさまの家	所長/介護支援専門員	
	係長/介護員	
	主任/介護福祉士	
	看護職	非常勤
	看護職	非常勤
	介護福祉士/防火管理者	
	介護員/社会福祉士	
	介護福祉士/社会福祉士	
	介護員	
	介護福祉士	
	介護福祉士	非常勤
	介護福祉士	非常勤
	介護員	非常勤
	介護員	非常勤
アテンダント	非常勤	

商工会及び観光協会への支出補助金に係る予算及び決算状況等

池田町商工会		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
6次産業振興事業補助金	当初予算額	—	—	300,000	200,000	250,000	250,000	150,000	H29より事業開始
	事業決算額	—	—	285,134	222,698	98,144	46,846	0	
	補助金確定額	—	—	285,134	200,000	98,144	46,846	0	
経営改善普及事業補助金	当初予算額	6,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	9,000,000	9,400,000	9,400,000	H27～30:当初予算計上時より県補助金が減額されたことによる増額 H27・2,600千円、H28～H30・2,000千円
	事業決算額	38,937,261	40,228,548	43,091,400	43,129,678	42,024,398	41,026,328	42,329,508	
	補助金確定額	8,600,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000	9,400,000	9,400,000	
商工業振興対策事業補助金	当初予算額	1,900,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	H27:防犯カメラ設置事業
	事業決算額	2,802,772	2,267,697	2,215,465	2,143,562	2,204,811	2,352,542	2,513,964	
	補助金確定額	1,900,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,547,500	1,547,500	
地域総合振興事業補助金	当初予算額	2,050,000	2,050,000	2,400,000	2,600,000	2,400,000	2,200,000	1,650,000	
	事業決算額	1,871,017	1,957,597	2,064,769	3,013,701	2,012,296	1,273,484	1,653,567	
	補助金確定額	1,871,017	1,957,597	2,064,769	2,600,000	2,012,296	1,223,381	1,413,583	
産業力再興事業補助金	当初予算額	4,400,000	4,500,000	2,000,000	1,600,000	1,800,000	1,800,000	1,250,000	
	事業決算額	4,379,050	3,698,214	2,442,971	1,501,340	1,312,181	495,920	758,779	
	補助金確定額	4,379,050	3,698,214	2,000,000	1,500,000	1,312,181	495,920	758,779	
合計	当初予算額	14,350,000	15,100,000	13,250,000	12,950,000	15,000,000	15,200,000	14,000,000	
	事業決算額	47,990,100	48,152,056	50,099,739	50,010,979	47,651,830	45,195,120	47,255,818	
	補助金確定額	16,750,067	16,205,811	14,899,903	14,850,000	13,972,621	12,713,647	13,119,862	

池田町観光協会関連		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
池田町観光協会補助金	当初予算額	7,549,000	9,705,000	11,241,000	12,500,000	11,430,000	10,350,000	10,000,000	H27:職員1名増による増額
	事業決算額	12,289,547	13,036,939	14,211,766	12,608,152	12,518,153	13,802,775	11,308,186	
	補助金確定額	9,705,000	9,705,000	11,241,000	9,200,000	9,198,334	9,701,000	9,800,000	
池田町観光推進本部負担金 (池田町観光推進本部)	当初予算額	8,471,000	8,797,000	8,578,000	9,258,000	10,300,000	10,124,000	4,340,000	H28:看板設置事業のため増額。補助残分は繰越し R2:翌年度での解散・精算を見越して補助残分は繰越し R3:年度末に解散。余剰分は町へ返還
	事業決算額	9,310,119	9,585,487	12,762,941	10,439,175	12,685,610	6,344,421	7,944,937	
	負担金確定額	8,471,000	11,142,000	8,578,000	9,258,000	10,300,000	7,243,000	4,242,147	
ウォーキング等事業補助金 (北アルプス展望ウォーク実行委員会)	当初予算額	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	670,000	100,000	
	事業決算額	1,346,835	1,138,481	1,253,381	1,254,325	1,332,418	519,250	132,235	
	補助金確定額	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	370,000	100,000	
合計	当初予算額	16,720,000	19,202,000	20,519,000	22,458,000	22,430,000	21,144,000	14,440,000	
	事業決算額	22,946,501	23,760,907	28,228,088	24,301,652	26,536,181	20,666,446	19,385,358	
	補助金確定額	18,876,000	21,547,000	20,519,000	19,158,000	20,198,334	17,314,000	14,142,147	

# 第1回 DX推進チーム会議

日時 令和4年8月5日（金）午前10時～  
場所 役場大会議室

## アジェンダ

- ▶ 開会のことば
- ▶ 副町長あいさつ
- ▶ DX推進に向けて今後の推進チームのありかたについて
- ▶ 案件紹介
  - 進行中 基幹システムリプレイス
  - LINE公式アカウント
  - 施設予約システム
  - 検討中 庁内WiFi化
  - BCL利用による各種コンビニ交付サービス
  - 情報系PC整備
  - 推進チームのITリテラシー向上活動
- ▶ 質疑応答
- ▶ 閉会のことば

## DX推進に向けて今後の推進チームの ありかたについて

- 役割
  - 1, 担当課（係）内のICT利用に関わるトラブルの1次対応
  - 2, 担当課（係）内の業務フロー改善ポイントの発掘
- 運営方法

全体でのDX推進チーム会議は基本的に行わない。  
課題（案件）別に部会を結成し該当する課（係）の推進チームと企画係で個々に実施する。
- 日々の業務のなかで

効率化や省資源化（ペーパーレス、CO<sup>2</sup>削減など）  
が出来る部分が無い意識を持つ。

## 組織について（行革委用追加ページ）

- DX推進チームメンバー
  - ・ 責任者（最高情報セキュリティ責任者） 副町長
  - ・ 事務局
    - 事務局長（情報システム統括管理者） 総務課長
    - 事務局員 総務課企画係（4名）
  - ・ チーム員（各課システム管理者）
    - 基本各課1名 計8名
    - （学校保育課は池田、会染保育園にも設置 計3名）
    - （会計課、議会事務局は設置なし 総務課チーム員が対応）
  - ・ チーム員補助者
    - 基本各係1名 11名（事務局、チーム員との重複除く）
    - （懸案事項に応じ随時追加削減可。チーム員との重複課）

合計 25名（令和4年8月5日現在）



## 案件紹介

# 進行中：基幹システムリプレイス

- ▶ 広域連合で使用している基幹システムのリプレイス。  
地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化が  
今後進む中でのリプレイスの為大幅変更が実施される。
- ▶ 実施企業は（株）電算
- ▶ リプレイススケジュール  
8月中旬：共同利用サーバー（大町情報センター）  
8月20日、21日：中間サーバー、IK端末（庁舎内）  
8月30日、31日：利用者研修（福祉関係）

## 案件紹介

# 進行中：LINE公式アカウント

- ▶ 旧LINE@（ラインアット）
- ▶ 通常のLINEとは違いトークをするツールではない。
- ▶ 利用目的は情報発信、問合せの簡易回答（チャットボット）など
- ▶ 無料通知は1000通までの為、地方公共団体プランを申請済み。  
(通知数は無制限です。)
- ▶ 町としての運用方法は検討中（担当：総務係）

## 案件紹介

### 進行中：施設予約システム

- 交流センターかえでをはじめとした町内の公共施設のオンライン予約システム
- 予約の要件（利用者（団体）の種別、備品管理、既存の運用との整合性など）を踏まえベンダー数社と調整中

## 案件紹介

### 検討中：庁内WiFi化

- 主にWS（情報系）端末のWiFi化
- WiFi化のメリット
  - ・ 物理的なケーブル接続を必要としない為、WiFiのエリア内ならどこでもPCを使用できる。  
(今後想定されるペーパーレス会議の対応)
  - ・ ケーブル管理が不要になり、レイアウト変更の自由度が上がる  
同時にHubやケーブルの管理工数が減りコストも削減。

#### ※WiFi化の注意点

- ・ SSIDの設定要件、配置位置（数）は利用環境を十分考慮して行う必要がある

## 案件紹介

検討中：

### BCL利用による各種コンビニ交付システム

- ▶ J-LISが整備している自治体基盤クラウドシステム（BCL）上で他のシステムを利用するより低予算で各種コンビニ交付システムを構築できる。
- ▶ 各種コンビニ交付システムとは、マイナンバーカードを利用してコンビニのキオスク端末でいつでも住民票などを取得できるサービス。

## 案件紹介

### 検討中：情報系PC整備

- ▶ WS端末について先日、全台調査を実施。
- ▶ 結果役3割（40台程度）がWindows7と分かった。
- ▶ IEのサポート終了に伴いEdgeを利用する事に今後急速になる事を踏まえPC整備を検討中。
- ▶ 整備内容は確定ではないが
  - ①ストレージの変更（SSD換装の上Windows10proインストール）
  - ②新PC購入の上リプレイス※①については数台で実証実験をしたが問題なく稼働中。

#### ①のメリット

非常に安価。（1台当たり7,000円程度）

#### ①の懸念点

整備に時間がかかる（1台当たり1～2日程度）

## 案件紹介

### 検討中：

## 推進チームのITリテラシー向上活動

#### ■ 活動目的

日々起こる大小様々なICT系のトラブルの初歩的な事象について対応できる知識をつけ、問題解決の時間や労力の削減を目指す。

#### ■ 活動内容

##### ・IT学習会

ITリテラシー向上にむけ基本的なITの知識（OS、ネットワークなど）の学習会。

##### ・情報（ソリューション）提供

上記を行いながら、各部署に有益そうな情報（ソリューション）を取り扱いのあるベンダーを招き、プレゼンを実施

## メモ

「事務・事業の改善に関すること ～①補助金の適正化～」に関する論点のたたき台

<補助金について>

1. 全体的な改善点

(1) 池田町の将来像と、それに適合した補助金の選定と配分

① 「補助金を選定する基準となる池田町の将来像」の策定と将来像に見合った補助金の選定

→ 補助金を選定するための一定の基準

- ・ 総花的ではなく、町民の福祉の向上や産業の育成、地方活性化に役立つ政策目的に合致すること
- ・ 前年踏襲ではなく、評価に基づいて基準の見直しを行うこと

→ 令和3年度で減額または廃止された補助金などについても基準に照らして復活することも考えられる。

(例) 長寿祝い金、ウォーキング事業補助など

② 財政危機克服期における財源の重点配分と、将来を見越した身の丈の財政措置

→ 削減は時限的な措置なのか、恒常的な措置なのか。

(2) 補助金の透明性の確保

① 証拠・データに基づく費用対効果の検証と改善

② 事業執行状況とその評価の公開

(3) 補助金の弾力的・一体的運用

① 移住定住補助金と他の類似補助金との整合性の調整

② 将来の課題として、子育て支援策との連動

(4) 団体補助の指針策定と算定根拠の明確化

① 補助金算定根拠の明確化と評価・検証

(5) 補助金による政策誘導効果の発揮（政策目的を達成するためのインセンティブの付与）

① 補助金を活用した政策誘導の発揮

→ 「定額・定量など政策的効果とは関係ない交付金配付方式」から「政策効果を発揮させる補助金配付方式」に転換すべきではないか？

(例) 分館成人学級補助金など

## 2. 個別の補助金の改善点

### (1) 社会福祉協議会

#### ① 人員の適切な配置と人件費の算定に関する透明性の確保

→ 1人当たりの人件費が400万円程度から530万円程度に1.3倍も増加

→ H27、1800万円がR3に2800万円に1000万円増加。定額補助金については、適切な補助対象経費の把握が必要

#### ② 社会福祉の政策的な方向付けをもとにした適切な補助金の設定

### (2) 商工会

#### ① 補助金の算定根拠の明確化

→ H27=860万円（当初予算600万円）、H28=900万円（同700万円） R2=940万円（940万円）と増額となっている。補助金の算定根拠が不透明

→ H28～30年度の3年間に渡り、当初予算額を上回った理由を明確化すべき

#### ② 過去の不透明な補助金支出を繰り返さない指針の策定

#### ③ 商工業の振興に対する町の方針に基づく補助金の重点配分

### (3) 観光協会

#### ① 町の観光行政のあり方の総点検と町の規模に合った観光協会の育成

→ この10年近くで事業を急拡大してきた付け

事業のマンネリ化と、町の事業、町民活動の下請けになる危険

→ 金の鈴会館からの移動と新しい活動・体制が急務

#### ② 法人化に伴い、独自収入確保の努力が必要

→ 令和4年度予算は、総事業費2,500万円に対して2,200万円もの補助金

→ 活動を整理し、1人分の人件費は自主財源で賄えるよう誘導

#### ③ 中長期的観光施策に沿った補助金のあり方の検討

→ 町の観光施策と一体の組織であることから、必要な事業の精査が必要。

### (4) その他

## 行財政改革に関する第一次答申（事務事業改善部分抜粋）

### I. 人件費の削減、組織・機構の見直しに当たっての基本的考え方

- (5) 池田町が力を入れてきた福祉・教育などを初めとする行政サービスの質を劣化させないように努力すること。また、防災、環境など、時代の要請に応えられる能力を高めること。
- (6) IT、OA など社会のデジタル化の進展の成果を取り込み、事務の合理化を進めるとともに、計画的な人材育成プログラムの整備や庁内における活発な意見交換などを通じて職務遂行能力の向上に努めること。
- (7) 役場内に統一感と緊張感のある雰囲気醸成し、規律ある職場環境を作ること。

### II. 取り組むべき具体的対策と目標

#### 3. 組織体制の見直し

##### (3) 課・係の再編・統合に当たっての留意点

- ② 総務課にあっては、庁内の取りまとめ部局として、企画・財政も含めた総合調整機能を果たす。
- ③ 池田町の発展に資するため、産業振興課と建設水道課の統合に当たっては、これまで以上に産業振興に注力する。
- ④ 組織体制として曖昧な位置づけである危機管理対策室を危機管理対策係又は防災・減災係とし、平時における災害対策機能とともに、災害時に設置される庁内横断的な組織である災害対策(警戒)本部の事務局機能を強化する。

#### 5. その他

##### (1) 業務の合理化・効率化の推進

業務内容の精査を図るとともに、デジタル技術を積極的に導入するなどの施策を講じることにより、業務を見直し、その合理化・効率化を推進する。

##### (2) 公平な人事評価の確立及び人材の育成

年功序列を改め、職務遂行能力・評価に基づいて昇進・昇格できる公平な人事評価を確立する。

併せて、各種研修プログラムを計画的・効果的に実施するとともに、庁内での活発な意見交換を通じて、職員の職務能力を向上させる。